

東京センターの役割は？  
では、東京センターはこれまでどんな役割を果たしてきて、これからどのような役割を担っていくべきなのでしょうか。

役割③「現代に相応しい布教方法の開発と実践」  
日々刻々と進化し変化していく社会と人々の暮らしに潜む難儀の背景をつかみ、より多くの

そのような厳しい状況の中で、それでも改築や維持にお金のかかる東京センター（ビル）は必要なのか？ ということが問われています。真剣に考えなければなりません。

役割②「御本部と教会をつなぐ」  
教務センター機能です。御本部の事務手続き窓口として教区内の教会と御本部とをつなぎ、各教会の布教活動を支えるお役目です。

セントラービルは教団存立と布教の要（かなめ）  
役割の①と②は教団、教務の他の団体とも情報交換を行い、お道とこの国の未来への舵取りに必要な情報と分析、提言を本部に送り届けることが必要です。

セントラービルは必要なのか  
「はたして東京に教団所有のビル（セントラービル）は必要なのか？」が今問われています。現在のセントラービルは老朽化が進み、耐震基準も満たしていないため、使い続けるには建て直しが必要ですが、厳しい財政状況に直面する現在の教団ご当局はその割り当てに苦慮しています。巷には「それよりも土地もろとも売却して不足する教団財政に充てたらどうか」という意見さえあるようです。

教団の財政逼迫の原因は端的に言えば、私たちの布教と救済の力が弱まり、信徒数と神様への御礼のお下がりが減少しているからです。もつとも現代の日本は昔よりはるかに布教が難しくなっていることも事実なのでしょう。

セントラービルは教団存立と布教の要（かなめ）  
役割の①と②は教団、教務の他の団体とも情報交換を行い、お道とこの国の未来への舵取りに必要な情報と分析、提言を本部に送り届けることが必要です。

## 特別寄稿「東京センターの役割を再確認する」

金光教浦和教会長・前金光教教団会議長 松本光明



“いま、和賀心のとき”

# フォーラムたより

2025  
10月号  
No.66

## 「嗚呼 金光教センタービル」

金光教首都圏フォーラム副議長 鈴木一嘉

八月、用があつて久しぶりに金光教センターを訪ねた。

事が頭をよぎった。  
このビルは、一九八五年に中古物件として購入。以来四十年の歳月が過ぎている。「このビルは、現在の耐震基準に足りてい

ない」と、東京センター所長から聞いたのは随分昔のことだ。現

聞われている。御造営には巨額の費用がかかることは明白である。そして、御造営が果たされ

てある。

「首都圏布教施設整備基金」  
「金光教首都圏フォーラム」  
「普通預金」  
「三菱UFJ銀行 本郷支店」  
「口座番号 0387228

「金光教首都圏フォーラム」  
「教会として振り込まれる場合」  
は、「〇〇キヨウカイ」と（金光教を抜いて）教会名を明示して下さい。個人の場合は、「氏名教会名」の順で記名してください。

力をお願い申し上げます。

金は息の長いものとして、貯まつた净財をセンタービルの「保全・補修」に充てることを目的と

している。皆様の御理解とご協

力をお願い申し上げます。

金は息の長いものとして、貯まつた净財をセンタービルの「保全・補修」に充てることを目的と

している。皆様の

## 「戦後八十年・首都圏布教御礼祈願祭」

金光教首都圏フォーラムは、六月八日（日）午前十一時から、今年も首都圏布教御礼祈願祭をお仕えしました。この祭典は、天地金乃神様、生神金光大神様、歴代金光様、そして首都圏布教功労者のご靈神様に、今日までの首都圏布教の御礼と、ここからさらなる進展を祈願する祭典として、首都圏布教百年の年から形を変えながら、毎年仕えてきました。今年は首都圏布教百三十七年。昨年に続き、ご靈地東光園の東京布教記念碑の前でお仕えできました。暑さも厳しい中ですが、険しい上り坂をものともせずに四十名の方たちが真心で参拝されました。

祭典は、山田信二（首都圏フォーラム議長）が祭主、鈴木宏宗師（千葉県連合会）が祭員を務め、首都圏布教祈願詞奉唱、取次唱詞奉唱、祭主祭詞奏上、祭主玉串奉奠、天地書附奉体、参拝者代表玉串奉奠、平和の祈り奉唱、東京布教賛歌「いまはのぼる」斎唱の順に仕えられました。

最後に祭主が八十年前の戦争を振り返り、「今年は、第二次世界大戦の終結から八十年という節年を迎えての祈願祭です。信心は、教祖様の教えと、御本部、各教会でのお取次に加え、平和な世界があつて、はじめて十分にできていくことだと思います。首都圏布教は首都圏のためだけのものではありません。世界の平和と人類の助かりに向けての

御用です。そのための御用に連帯して当たらせていただきましょ」と挨拶しました。

八十年前の戦争によつて多くの人が犠牲になりましたが、本教教師信徒の中にも命を落とした方が多くありました。また各地の空襲や強制疎開で施設を失った教会も多数あります。首都圏においても、当時の九十六教会の内四十九教会（茨城県一、群馬県二、東京都三十四、神奈川県十一、山梨県一）、さらに六布教所、東京出張所、関東教務所、青年会寄宿舎が空襲で罹災しました。また強制疎開で立ち退かされた教会は九教会あり、そのうちの四教会は移転先で空襲に遭つたということです。

そのような大きな被害を乗り越えて人を助け、今日に首都圏布教の営みを伝えてくださった先人たちの尊い御用には、いくらお礼を申し上げても足りません。

また、戦時中このお道のご信心が歪められ、神様の氏子同士が殺し合う戦争に教団を挙げて協力したという歴史を振り返れば、私たちは深い反省とお詫びをもとに、二度と戦争の惨禍を繰り返さないことを誓い、平和を希求・実現する信仰の確立を求めていくことが、今日を生きる私たちの役割です。

また、当日は教師勤続四十年褒賞を受けられた南恵子師（神奈川県登戸教会）、松本峰子師



（埼玉県浦和教会）、宮田恵子師（東京都本所教会）と、新たに教師に任命された岸井祐貴師（東京都新宿教会）、嶋田誠文師（埼玉県所沢教会）の紹介があり、参拝者全員から温かい拍手が送られました。

師に任命された岸井祐貴師（東京都新宿教会）、嶋田誠文師（埼玉県所沢教会）の紹介があり、参拝者全員から温かい拍手が送られました。

## 連合会通信

る姿勢が大切だと感じた。」との感想が聞かれました。

**茨城・栃木教会連合会**

茨城・栃木教会連合会では、恒例の教師信徒合同研修会を六月十九日にかけ、川治温泉「金型かわじ荘」を会場に開催した。

予てより信徒部が温め続けた「膝詰めでじっくり信心共励ができる場を」との願いを受け、講師として中畠吉子先生（北沢教会長）にお越し頂き、「道を伝える」をテーマに定めた一泊型研修が実現した。講話・質疑・会食と懇談の場を通して、十一名の参加者は「身近な問柄で伝える信心・親から子へと伝わるような信心」の重要性を感じとつた一泊二日間であった。

八月三十日（土）は、気温三十一～三十二度の暑さの中、青少年の成長を願う教師と信徒二十一名が青少年育成祈願祭に参加。典楽に興味を持つ信徒達が楽器に触れたということがあります。

（埼玉県浦和教会）、宮田恵子師（東京都本所教会）と、新たに教師に任命された岸井祐貴師（東京都新宿教会）、嶋田誠文師（埼玉県所沢教会）の紹介があり、参拝者全員から温かい拍手が送られました。

**群馬・埼玉教会連合会**

五月三十日、埼玉県環境整備センターを会場に「第三回群馬のつどい」を開催し、二十四名が参加しました。SDGsの「エネルギー」について考えるためリサイクル工場を見学。廃棄物が再利用されエネルギーに変換される工程を学び、その後、信徒部のクイズで盛り上がりました。

七月十四日、教師研修会を行った。参加者から「取次者として、自分の物差しだけでなく、相手

の仲間をつくろう」「信心を高めよう」「次の世代につなげよう」「信心の喜びを伝えよう」という合言葉で、連帯と研鑽の活動を進めています。

神奈川山梨連合会では、「お道の仲間をつくろう」「信心を高めよう」「次の世代につなげよう」「信心の喜びを伝えよう」という合言葉で、連帯と研鑽の活動を進めています。

**東京都教会連合会**

今年から新分会編成となつた東京都教会連合会は、各々活発な分会活動が展開されています。第三分会は七月二十一日にボーリング大会が開催され、第一分会は八月十一日に、金光教のラジオ放送を元に信心共励を行つた講座を受講します。また十一月三十日には、首都圏内の教会の信奉者間の親睦をはかるイベンティーを、品川区小山台の「林試の森公園」を会場に開催致します。皆様の御参加をお待ちしております。

ジオ放送を元に信心共励を行つた講座を受講します。また十一月三十日には、首都圏内の教会の信奉者間の親睦をはかるイベンティーを、品川区小山台の「林試の森公園」を会場に開催致します。皆様の御参加をお待ちしております。

## 神奈川・山梨教会連合会

神奈川山梨連合会では、「お道の仲間をつくろう」「信心を高めよう」「次の世代につなげよう」「信心の喜びを伝えよう」という合言葉で、連帯と研鑽の活動を進めています。

三月二十六日には、みんなの交流会を開催。二十四名が参加して、キリンビール横浜工場の見学を行い、日本でのビール製造の歴史やビール製造工程などを学び、しつかり試飲も楽しみました。

その他、教師信徒研修会（七月五日）、女性の集い（七月十三日）では学び合いの時を持ちました。さらに、第三回グラウンドゴルフ大会（十月十三日）、講話と夕食の会（十二月六日）と続きます。

その他、教師信徒研修会（七月五日）、女性の集い（七月十三日）では学び合いの時を持ちました。さらに、第三回グラウンドゴルフ大会（十月十三日）、講話と夕食の会（十二月六日）と続きます。

（発達障害）について学びました。参加者から「取次者として、自分の物差しだけでなく、相手